

## あのお、三権分立って知ってます？

標題は、3月7日号の週刊朝日に載せられている作家の室井佑月氏の記事のタイトルです。室井氏は、安倍首相独自の決断によって日本がどんどん変わってしまうのではないかと危機感を募らせているそうです。以下にその一部を紹介します。

今の世の中が本気で怖い。最愛の息子は今後、人生を享受することができるのだろうか。毎日、そんなことばかり考えている。

子の親なら、みんなそんなもんなのかしら。いいや、違うね。都知事選の投票率の低さを考えれば、あたしの心配をガハハと嗤（わら）い「バッカみたい」という人が多数なんだろう。

2月14日付けの東京新聞に「三権分立崩す」という見出しの記事があった。

「安倍晋三首相が集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更を、歴代内閣による議論の積み重ねを覆して自ら進める考えを国会答弁で示したのに対し、13日の自民党総務会で『三権分立を根底から崩す』などと批判が相次いだ」というものだ。

12日の衆議院予算委員会で、集団的自衛権の行使容認について、民主党の議員が法制局に質問した。すると、安倍さんは何度も手を挙げ、自分が答えるとアピール。そして、こういい放った。

「先程来、法制局長官の答弁を（質問者が）求めているが、最高の責任者は私だ。私は責任者であって、政府の答弁にも私が責任を持って、その上において、私たちは選挙で国民から審判を受けるんですよ」

あのお、三権分立って知ってます？小学6年生のときに社会科で習う。立法、行政、司法—つまり国会、内閣、裁判所の三つの独立した機関が相互に抑制し合って、権力の濫用を防ぎ、国民の権利と自由を保障する、憲法でそう定まっている。中学受験では基礎中の基礎、低レベルの問題だ。

安倍さんは、小学生でも知っているそのことを知らなかった？いや～いくらなんでもまさかね。とすれば、いつの間にかこの国のルールが変わっている？あたしはこういうところが怖い。

安倍さんいわく、最高の責任者であるご自分がこの国のすべてを決めていいのなら、彼個人の感情で「じゃ戦争でもしてみっか」と即決も出来よう。

この国は、世界中から危ねえ、と煙たがられている金さん率いる北朝鮮みたいな独裁国家を目指しているのか。

話しが極端すぎる？でも、確実にじわじわとそうなりつつあるように思える。

内閣法制局は内閣の部局ですが、法の解釈は裁判所と同様、独立性が求められるのは当然ではないでしょうか。